

功 績 概 要

○個人の部

部門		氏名	功 績 概 要
美術	絵画	大鷹 進	山口県美術展覧会を皮切りに、行動展を中心に出品を重ね、行動美術賞を受賞。行動美術協会会員として活躍する傍ら、絵画指導などを通じ、後進の育成にも尽力している。
美術	書道	山田 梓江	毎日書道会会員として中央展で活躍。海外での展覧会に出品し、日本文化の普及に努めるとともに、現代女流100人展に選任され、度々出品するなど実力が高く評価されている。また、H30年に山口県書作家協会会長に就任するなど、書道指導者として功績は顕著。
音楽	団体活動	安東 榮一	岩国混声合唱団の設立に尽力し、現在まで代表として活動するとともに、「合唱を委嘱する会“岩国”」実行委員会を結成し、委員長として合唱委嘱作品初演演奏に長年取り組むなど、特色ある取組で本県の合唱分野を牽引してきた功績は多大なものがある。
音楽	邦楽 (尺八製管)	岡寺 竹勇	全国でも数少ない尺八製管師として製管を手掛け、その作品と技術は、国内外のトッププレイヤーに高く評価されている。また、尺八のクリニックや講習会を企画実施するなど、後継者育成にも尽力している。
音楽	器楽	田中 雅弘	東京都交響楽団首席チェロ奏者として活躍するとともに、本県においても、長年「室内楽セミナー」や小中学校への訪問演奏等を通じ、後進の指導・育成に尽力している。また、防府音楽祭に、音楽監督として立ち上げ当時から継続的に取り組むなど、本県の文化振興における功績は顕著。
一般文化	地域文化	樹下 明紀	山口鷲流狂言保存会会長として、山口鷲流狂言の全国的な認知度向上や地域への浸透に取り組むとともに、山口県立大学の稲田教授と共に「山口鷲流狂言資料集成」の刊行に尽力した。また、山口県伝統保存会連絡協議会の初代会長として、県内伝統芸能の振興に寄与。

○団体の部

部門		団体名	功績概要
美術	書道	一般社団法人 山口県書道連盟 (会長 佐伯弦柳 ^{さえきげんりゅう})	昭和58年の団体創設以来、県域の書道団体として書の普及・発展に寄与。また、山東省と交流し、山口県・山東省児童生徒書道展を昨年度までに15回にわたり行うなど、書を通じた文化交流にも取り組んでいる。